

2019年1月号

〒657-0064 神戸市灘区山田町3丁目1-1 神戸学生青年センター内

食品公害を追放し安全な食べ物を求める会

TEL & FAX : 078-822-0810 第2FAX : 078-842-2430

■URL・<http://www.motomerukai.com>

■Email : [info.motomerukai@gmail.com](mailto:info.motomerukai@gmail.com)

# 求める会ニューズ No. 960

## 新しい年を迎えるにあたって



「食品公害を追放し安全な食べ物を求める会」のおかげで、元気に新春を迎えられることを会員の皆さんと共に感謝します。私たちはステーションの維持や、イベントの手伝い、提携先の食べ物を買って支えるなどしてそれぞれの立場で会を支えています。その活動は仕事や子育てをリタイアした近年も生活を孤

独ではなく、いきいきしたものにしてくれました。しかし家族の介護、または自身の体調の不振によって思うような動きがとれない人が増えており、新年はこれからの会の在り方や、活動スタイルを考える1年になります。そのために、まず私たちが最も大切にしている生産者との「提携」について、あらためて考えてみましょう。

「提携」を提唱した日本有機農業研究会（日有研）は、1971年有機農業を広めることを目的に結成され、その指針は「求める会」の活動の「四原則」のもとになりました。2015年に神戸で開かれた日有研の提携フォーラムで日有研理事の並木芳雄氏は、★「市場経済原理を超えないと農業は生きていけません。提携はそのために不可欠な方法です」と講演されました。一見大仰な言葉ですがグローバリズムのなか、日本の農業が危ぶまれているなかで杞憂ではありません。続けてパネラーの若い女性が、★「提携のことを知らない大多数の消費者にとって、提携は安全な食べ物を購入する手段です。でもそこから学習プロセスを踏むことによって、消費者から参画者に成長すれば、農は生産者とともに守っていくものだと思えます」と発言、なるほどと感心しました。

同じ年に京都で開かれた同フォーラムでは、★「提携は一体どれだけの力を持っていたかということ。消費者は安全な食べ物が来たならそれで満足してしまう。また生産者は自分の農業経営の安定のために出荷先が安定していればそれで満足してしまう。この満足が自閉的というか、動きを広げていこうという力になり得たかどうか、ここが問われている。」という発言がありました。この★を記した三者の意見を参考にして、求める会にとっての提携についてもう一度考えていきませんか。

来年2月に滋賀での日有研の全国大会（チラシ同封しています）のイベント「有機農業関西のつどい」が、12/8に西宮で開催され会員も多数参加しました。新しい形の生産者と消費者のつながりについて話し合わせられPGSにも言及されました。日有研の橋本氏「世界では、生産者・消費者を守るはずの認証制度(JAS)がビジネス偏重に傾きすぎたことへの見直しが大きな流れです。」 柿木村の福原氏「学習してJASをとった。しかし自給農業には合わない。10年でやめた。独自認証(PGS)で消費者と語りながら届ける方が山間地に合う。」 レギューム光岡氏「百貨店などで売るときはJASも要る。しかしローカルで顔の見える関係でやるなら必要ない。この人だから信頼できる、この人が喜んでくれるから頑張る、そういう関係を地域なら作っていける。」

PGSは提携推奨の制度です。求める会の今後を考えるためにも、皆さん一緒に2月の滋賀へいきませんか？

代表 大野貞枝

12月全体会報告  
12月12日(水)10:00~12:30

## 検討事項

- 1、「有機農業関西の集い」(日有研関西の集い実行委員会)12/8」への参加。
  - ・パソコンで動画を見ながら、柿木村の福原圧士さんのスピーチ、若い生産者のスピーチを聞いた。求める会の「提携」と違った活動が紹介された。
  - ・福原さんの想い、若い人の行動等を知ることが出来、有機農業を支える核を大切にしたい。
- 2、求める会の今後を考える：会員に今後について自由な意見を聞いた。
  - ・入会以来、安全な物、美味しい物を頂き、感謝している。このまま続けて欲しいとは思いますが、部員の方の努力あってこそで、年齢的にも、考える時期かもしれない。
  - ・自分も家族も歳をとり、自由にステーションに行くことも、活動にも参加し難くなってきた。形をかえての求める会を続けて欲しい。
  - ・組織的に潰れる可能性があるのかな。組織が潰れても私はやっていきたい。その時に考えればよい。このまま続けて欲しい。
  - ・現実にはセンターの移転という問題もある。それも踏まえ？年にはこれ？年にはこれと計画をたて、その後の会の在り方を考えたい。
  - ・市有研、他の生産者と一緒に考なくてはいけない。
  - ・若い会員もいるが、退会も早く、共にゆっくりと会を育てる時代でなくなった。
  - ・私のグループはかなり大きなグループだったが、人数も減り、グループ内で、分配、配送等をしていたが、だんだんと難しくなった。
  - ・今、あしの会に配送をお願いしているが、あしの会にどこまでお願いできるのか、理念が同じなら、どこまで共にやれるのか、話しあった方がよいのではないか。
  - ・40年前は、有機野菜、求める会は異質に思われてきたが、有機農業も認められ、市場にもでてきている今、ここまで続けてきた私達を誇りに思い、礎になればよいと思う。
  - ・40年前、母乳から農薬が出たことが発端に、農薬を使わない野菜を求めての活動だった。提携は社会運動と食べ物の理念の両方であると思う。

- ・求める会の事で、自分の出来る限りの事は手伝いたい。
- ・市有研も交えて、あしの会と話しあった方がよい。
- ・理念から入ってもらう時代ではない。若い人は引いてしまうが、若者に聞くと本当に美味しいと解って、それからだそうである。

## 報告事項

### ① 活動部各担当

#### 【生産者担当】

- \*野菜12月のコンテナ数：合計375・個配10
- \*畑の様子  
初雪が降りましたが、長い間暖かい日が続いたので、葉物など大きく育ってしまいました。大根、かぶ、人参、ネギ、青更菜、などの葉物もできています。今年、白菜は出荷できます。
- \*卵  
鶏が歳をとり、殻が柔らかくなり出荷出来なくなってきましたが、雛の購入に時間がかかり、今は足立さんをお願いしています(橋本さん)。
- \*米  
・冬鋤き(稲の株を起し田を鋤く)をして土作りをしています(高木さん)。  
・台風で壊れた柵の修理や田耕をしています(池野さん)。
- ・果物  
フジ配送中。レモンが黄色くなったので出荷。
- \*牛乳：来年ヨーグルトのデザインが変わる。100ml→90ml

【会員担当】：12月会員213名。1名入会。

【広報】：ニュース1月号12月19日印刷

【学習・研究】：千葉由美さんへりんご送付

【会計】：収穫感謝祭収益64002円。

#### 【渉外担当】

- ・「全国有機農業の集い」2019年2月23~24日於、アヤハレークサイドホテル(滋賀県)~つくる人・食べる人のつながりが大事! なんやねん、PGSって?~  
いのちを大切に作る社会を作るための実践としての有機農業。その発展には作り手と食べ手がつながり支え合う「提携」をすすめることが不可欠です。その鍵を握るPGS(参加型保障システム)の創設について考える。

1月部会1月9日(水)10:00~

全体会：1月16日(水)10:00~

求める会が今年度から福島支援を行っている「いわきの初期被曝を追及するママの会」の千葉由美さんから、学習研究担当の高橋さんにお礼のメールが届きましたので、ご紹介しませ

高橋様

こんばんは。福島県いわき市の千葉です。

この度は、安全なリンゴをお届けいただき、ありがとうございます。

感謝して受け取らせていただきます。

私は事故後、子育て中の母親のコミュニティづくりと情報共有のために、毎月お茶会を開催しています。今月は19日に行く予定ですので、そこで使わせていただこうと思います。今年の3月に原子力規制委員会から事故後子どもたちの環境に設置された空間線量を可視化させる測定器（モニタリングポスト）を撤去するという方針が発表されました。それを受け、配置継続を求める動きを続けてまいりました。先週の金曜日には参議院議員会館で3回目の規制庁交渉を行い、方針の撤回を求めてきました。

私はその会の共同代表をしています。

それらの動きが掲載されたサイトや記事なども添付させていただきます。

「モニタリングポストの継続配置を求める市民の会」ブログ

<https://monitoringpost.blogspot.com/?m=1>

お茶会では、そういったことも共有しながら、子どもたちに残す未来のためになにができるかなども話しています。今後とも、繋がりを持たせていただけましたら幸いです。どうぞよろしくお願い致します。

寒さが厳しくなってまいりましたが、お身体を大切にお過ごしください。

感謝を込めて。

千葉由美

12月8日（土）、西宮北口の「野菜ビストロレギューム」で、「有機農業関西のつどい」が開かれました。柿木村の福原圧史さん、ビストロレギュームの光岡大介さんの講演、軽食をいただきながらのパネルディスカッションで、新しい形で有機農業や生産者と消費者を結ぶ取り組みが紹介されました。求める会からは13名も参加。以下は参加した大森さんの感想です。

### 「有機農業関西のつどい」に参加して

いつもの、求める会関連集会と少々違って若者の多いことにビックリ！ 孫と同じような年齢の仲間がいっぱい。女性や男性、入り交わり「良いな、今日来て良かったな！ 前向きな話も山盛り」楽しい感想です。

日々の生活の中で「あきらめ」ムードを感じていました。購入物品（野菜をはじめ、もろもろ物品）悪かろう・安かろうを求め、人体に対しても地球に対しても問題意識なく購入する若年層を見聞きする中で「どうせ、聞いてもらえない」等々の意識を持っていた自分を反省する集会でした。

土作りから物づくり、に意識を持って頑張っている若者の意見を目の前で聞き、あきらめたらあかん。我々の思いをあきらめることなく語り続けることの必要性を深く深く思わせてもらえる集会でした。

後期高齢者の多くなった求める会ながら、地味ながら、言葉少なくても、自信をもって求める会の活動の必要性を、子供や孫に語り続けて行きましょう。

（逆瀬川G 大森 悦子）

## 1月のカレンダー

1月9日(水) 部会  
 1月16日(水) 全体会  
 1月20日(日) 共同購入申込締切日  
 1月21日(月) 自動引き落とし日  
 1月23日(水) 食料環境セミナー



## 1月全体会議題

○求める会の今後の運営体制について

## 食料環境セミナー

### 「資本主義的食料システム」を考える

「大豆を伝統食から工業原料に、植物油をエネルギーから食材に変えた政治経済史」

1月23日(水) 10:30~12:00

平賀 緑さん

会場：神戸学生青年センターホール

参加費：600円

主催：(公財) 神戸学生青年センター

## 2019年1月 配送予定

月	火	水	木	金	土	日
	1/1	2	3	4	5	6
	休み		休み	休み		
7	8	9	10	11	12	13
	野菜年始初 牛肉	部会	豚肉	牛肉 取扱品②		
14	15	16	17	18	19	20
	お茶・油 取扱品②	全体会	お茶・油 取扱品② 牛肉	お茶・油 豚肉		
21	22	23	24	25	26	27
	お米 豚肉	セミナー	お米	お米		
28	29	30	31			

## お知らせ

「おいしいね」が育てる元気Ⅲ  
 で味噌づくりをします。

2019年2月18日(月) 10:00

サロン室 募集10~13名

会員や、お知り合いの方を  
 ご紹介ください。

詳しくは2月号  
 ニュースで。



## 氷上ヨーグルトについて

平成31年3月1日納品分より、食品表示法改正に伴い、氷上ヨーグルトの表示の変更と共に、商品名、パッケージのデザインおよび容量が変わります(100g → 90g)。製造工場、商品製法及び中身の変更はありません。



## 事務所よりお願い

注文の変更がある時、配送時に「あしの会」のスタッフに伝える会員があるようですが、「求める会」の事務所まで電話かFAXでしていただくようお願いいたします。

TEL/FAX 078-822-0810

第2FAX 078-842-2430

## 全国有機農業の集い2019 in 琵琶湖

(詳細は今日同封のビラをご覧ください)

プログラム・ピックアップ

・特別講演：2/23(土) 13:30~15:00

福井地裁元裁判長 樋口英明氏

大飯原発3,4号機運転差し止め判決で、その判決文の格調の高さで話題に。

・懇親会：2/23(土) 19:00~21:00

全国からの参加者が一堂に会します。

あまりない良い機会ですし、また予算的にもご協力をお願いしたく、できるだけ多くの方の一泊参加をお願いいたします。もちろん部分参加も大歓迎です。

主催：日本有機農業研究会全国大会実行委員会

(ご案内：日有研会員 大野、飛田)